

## 説明文

- ① 島の脇に風の強い部分、島の裏に風の弱い部分ができる。
- ② 強風と弱風に挟まれた上図2箇所の海域間に、圧力の高低差が生じる。  
(西向きの風がコリオリ力によって右に偏向し、南側の海水を北側に移動する働きをするため。)
- ③ 等圧線に沿って風が吹くのと同様の理屈で、圧力の高い海域と低い海域の間に海水の流れができ、西側の暖かい海水を運んでくる。
- ④ 帯状の暖かい海域には回りの海域から風が吹き込んでくるが、コリオリの力により偏向するため、帯状に広がった暖水海域より北側では西向きの風を強化し、逆に暖水海域の南側では西向きの風を弱める働きをし、より西側へ風の強弱パターンが伸長される。

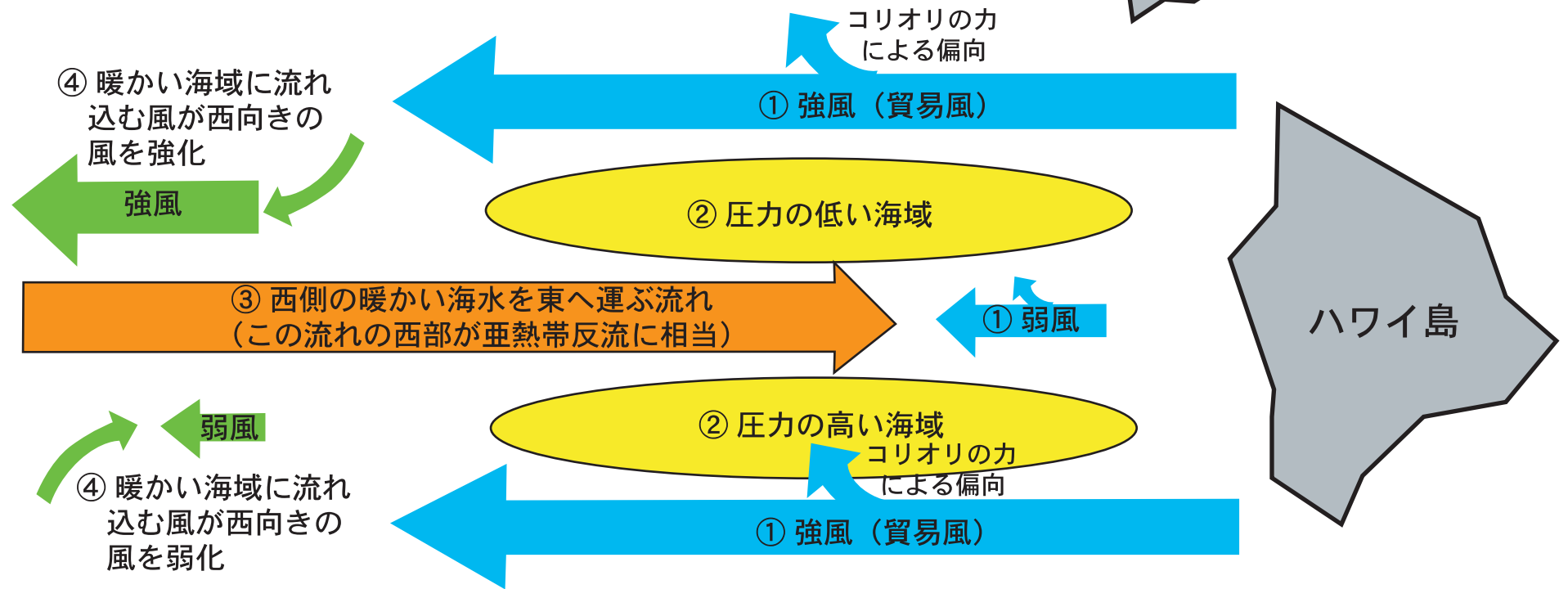


図6 ハワイ諸島西側において島陰が発達するメカニズム